

令和4年度社会福祉法人静香会事業報告

○法人本部

1. 外部・内部の課題に対する取組結果

(1) 外部の課題

①新しい生活様式に対応し新しい課題に挑む

- ・令和4年度はそれぞれの事業の目的と各施設の運営方針を再確認する中で、長引くコロナ禍で中止や縮小・自粛を余儀なくされた行事や支援・保育等を見直し、大切にしなければならないことを見極め、新たな方法や手段を用いそれらに取り組んだ。
- ・悠雲寮入所施設において、8月と1月に新型コロナウイルスのクラスターが発生したが、3年以上続いたコロナ禍の中で研修・訓練を重ねた緊急時の感染拡大防止対策や構築した事業継続計画（BPC）に基づき対応することで、いずれも短期間で収束することができた。これらの経験を、手順書等の見直しや基本的感染予防対策の改善等、日常の感染症対応にフィードバックし、利用者の楽しみである行事や外出の機会を増やした。
- ・ほほえみ&みのり工房では、コロナの感染状況を確認し感染対策を徹底した上で、徐々に地域のイベントに参加し出店する機会を増やした。地域の方々との交流の場が増えたことで、売り上げも伸び、利用者の働く意欲をさらに高めることができた。
- ・このはな保育園においてはクラスター等の発生はなく、他の感染症と比べても脅威となるものではなかった。徐々に緩和された行動制限やマスクの着脱ルールにも一早く反応し、感染対策が保育にもたらすメリットとデメリットを考慮し、保護者理解のもと積極的に脱コロナを図った。運動会や発表会、オープン参観などの行事もほぼ例年と同様に行うことができた。

②地域共生社会の実現に向けた公益的な取組の推進

- ・地域共生社会の実現に向け、地域の生活課題や福祉ニーズの把握と高い専門性を持ち、相談事業所ゆううんを中心に積極的に関わった。
- ・静香会が令和5年度より「障害者のための基幹相談支援センター業務」を長泉町より委託を受け実施していくため、長泉町と協議を重ね準備を進めた。

(2) 内部の課題

① サービスの質の向上

- ・福祉サービス利用者・家族の声を聴き、ISO システムに則り、各施設で継続的にサービスの質、満足度の向上に取り組んだ。
- ・災害や感染症のまん延などの緊急事態に備え、利用者・職員等の生命と安全を守るため、常に事業継続計画を見直し・訓練を実施した。
- ・虐待防止委員会が中心となり、虐待防止のための取り組みを継続して行った。

② 人材の確保、育成、定着の促進

- ・新たな取り組みとして、フェイスブックを活用し情報発信を行った。SNSにより静香会の情報を得て面接に臨む採用希望者が増えてきた。
- ・小さな子供を持つ女性、高齢者、障害者等の多様な人材が働き続けられるよう、必要に応じ勤務時間や業務内容等の話し合いの機会を持った。
- ・リーダー職員に対し、それぞれの職務等級に求められる職責内容、所属施設内におけるそれぞれの役割や具体的行動を説明し、マネジメント等職務遂行能力を高めるための研修を行った。また外部のリーダー研修や地域の会議に積極的に参加させた。

③ 児童発達支援センターの開園準備

- ・令和5年度の児童発達支援センター開園に向け、資金関係・工事関係の準備を進めた。
- ・開園準備室会議を毎月行い、運営に関する準備を進めた。
- ・3/16 (木)、ススミダス竣工式を行った。
(ススミダス施設整備事業報告書 添付)

2. 令和4年度の目標に対する取組

(1) 支援に関すること

- ・コロナ禍においても各施設で安心・安全に十分配慮した上で様々な工夫をし、質の高いサービスの提供を維持した。
- ・保護者との連携を密にし、利用者・園児へのより良い支援・保育のための情報を共有し満足度の向上へ繋げた。

(2) 人材に関すること

- ・人事評価制度の内容について全職員に説明を重ねるとともに、職員一人ひとりの個人目標達成に向けての助言や指導を行った。
- ・WEB等で開催された外部研修には、多くの職員が受講できるよう配慮した。
- ・コロナ感染予防対策を徹底した上で、必要に応じ現地での研修に参加した。
- ・法人内研修を充実させ職員の資質向上に努めた。

【研修】

施設名	外部研修		法人内・施設内研修
	講座数	延べ人数	講座数
悠雲寮	30件	53名	18件
グループホーム	7件	7名	7件
ゆううん	22件	24名	21件
ほほえみ&みのり工房	9件	18名	12件
このはな保育園	16件	17名	8件
本部	10件	14名	9件
合計	94件	133名	75件

※主な研修内容

外部研修

新型コロナ等感染症対策、事業者説明会、運営管理、会計経理、ICT、成年後見人制度、BCP、地域連携関係、発達障害者支援、虐待、自閉症、食品衛生、保育士キャリアアップ
保育連合会・保育園連盟・保育協会の研修 等

法人内施設内研修

外部研修報告、新型コロナ等感染症、防災対策、虐待、権利擁護、AED、マネジメント、チームビルディング、食育、保護者対応、保育実践、環境設定、リフレクション、アレルギー、発達障害、処遇改善特別加算等の基準説明 等

【職員の採用及び退職】

(令和4.4.1～令和5.3.31)

施設名	採用		退職	
	正規	非正規	正規	非正規
悠雲寮	2	1	0	4
ゆううん	0	0	0	0
悠雲の家・アネックス悠雲の家	0	0	0	0
ほほえみ&みのり工房	0	1	0	1
このはな保育園	5	3	3	1
法人本部	0	0	1	1
合計	7	5	4	7
	12		11	

【職員人数】

施設名	令和3年4月1日	令和4年4月1日	令和5年4月1日
悠雲寮	33	39	36
ゆううん	5	5	6
悠雲の家・アネックス悠雲の家	2	2	2
ほほえみ&みのり工	14	16	13
このはな保育園	24	30	23
ススミダス			12
法人本部	5	5	2
合計	83	97	94

【時間外勤務実績時間数】（令和4.4.1～令和5.3.31）

施設名	職員数 (月平均) 管理職除く	令和4年度 延時間数	月平均 延時間数	月平均 一人当時間数	主な理由
悠雲寮	37.0	276.8	23.07	0.62	利用者対応 感染症対応
グループホーム	2.0	30.5	2.54	1.27	業務補助 感染症対応
ゆううん	6.0	31.8	2.65	0.44	地域の利用者対応 計画書類作成
ほほえみ& みのり工房	15.75	22.0	1.83	0.12	作業補助 新年度準備
このはな保育園	28.5	84.5	7.04	0.25	土曜保育 保護者対応 児発準備
本部	2.0	0	0	0	なし

【有給休暇取得率】

施設名	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悠雲寮	86.6%	57.1%	74.7%	85.42%
グループホーム	82.1%	46.0%	69.7%	92.13%
ゆううん	68.0%	38.9%	73.5%	90.70%
ほほえみ& みのり工房	69.0%	49.1%	60.1%	83.52%
このはな保育園	73.0%	63.7%	75.3%	86.66%
本部	72.8%	52.8%	96.6%	108.13%

※ 厚生労働省「年次有給休暇の計算方法」より

$$\text{取得率} = \frac{\text{当年の取得日数（前年繰り越し分を含む）}}{\text{当年の付与日数}}$$

(3) 地域に関する事

①地域における公益的な取り組みの強化

【地域における公益的な取組】

- ①地域の要支援者に対する相談支援
- ②地域の要支援者に対する配食見守り移動等の生活支援
- ③地域の要支援者に対する権利擁護支援
- ④地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供
- ⑤既存事業の利用料の減額・免除
- ⑥地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動
- ⑦地域住人に対する福祉教育
- ⑧地域の関係者とのネットワークづくり
- ⑨その他

施設名	地域における公益的な取り組み実施件数									
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
悠雲寮	0	0	2	0	0	0	6	12	0	20
グループホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
ゆううん	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
ほほえみ&みのり工房	0	2	0	0	0	0	7	9	0	18
このはな保育園	0	0	0	0	0	0	0	12	18	30
合計	0	2	2	0	0	0	13	34	25	76

(4) 経営管理に関すること

①毎月行う管理職による経営会議において、各施設・事業の経営状況を把握分析するとともに法人全体の財政状況を確認し、対策を講じた。

各施設・事業の経費節減を図るため、委託業務・リース等の契約内容の検討・見直しを行った。

②事業継続への備え

施設の事業継続計画に従い、訓練・検証・見直しを行った。

既存の光ファイバーケーブルによる通信を廃止し、新たにインターネット経由で新築の児童発達支援センターを含めた各施設間で相互通信（各種データ通信、内線電話）が行えるようVPNネットワークを構築した。

③児童発達支援センター施設整備費（概算）

〈支出〉 建築造成費計	約 280,000,000 円
その他経費計	約 20,000,000 円
土地購入費	約 50,000,000 円
	<hr/>
	約 350,000,000 円

〈収入〉 長泉町補助金	73,100,000 円
法人自己資金	約 276,900,000 円
	<hr/>
	約 350,000,000 円

法人自己資金は、悠雲寮の積立金を取り崩し対応した。

3. 定例事業

(1) 理事会の開催

① 第1回 令和4年6月2日(木)

報告事項

第1号報告 理事長職務執行状況

審議事項

第1号議案 令和3年度社会福祉法人静香会事業報告

第2号議案 令和3年度社会福祉法人静香会各会計決算報告
及び監査報告

第3号議案 社会福祉法人静香会経理規程の一部改正

第4号議案 令和4年度社会福祉法人静香会各会計収支補正予算

第5号議案 定時評議員会の招集

第6号議案 県指導監査の実施結果

第7号議案 悠雲寮給食調理業務委託入札指名業者の選定基準

第8号議案 悠雲寮給食調理業務委託入札参加者の選定

第9号議案 悠雲寮給食調理業務委託入札立合い者の選任

第10号議案 (仮称) 静香会児童発達支援センター新築工事入札

第11号議案 (仮称) 静香会児童発達支援センター新築工事監理
業務委託契約

② 第2回 令和4年6月15日(水) 決議の省略

提案事項1 (仮称) 静香会児童発達支援センター新築工事の
入札参加資格の確認及び入札執行

提案事項2 (仮称) 静香会児童発達支援センター新築工事の
入札立合い者の選任

③ 第3回 令和4年7月15日(金) 決議の省略

提案事項 (仮称) 静香会児童発達支援センター新築工事
請負契約締結

- ④ 第4回 令和4年8月26日(金) 決議の省略
 提案事項1 悠雲寮給食調理業務委託契約締結
 提案事項2 評議員会の招集
- ⑤ 第5回 令和4年9月21日(水) 決議の省略
 提案事項 社会福祉法人静香会規程類改正
- ⑥ 第6回 令和4年11月18日(金)
 報告事項
 第1号報告 理事長職務執行状況
 第2号報告 (仮称) 静香会児童発達支援センター施設整備進捗状況
 審議事項
 第1号議案 社会福祉法人静香会各事業所積立金取り崩し
 第2号議案 令和4年度社会福祉法人静香会各会計第2次補正予算
 第3号議案 社会福祉法人静香会経理規程の一部改正
 第4号議案 各種契約の締結
 第5号議案 (仮称) 静香会児童発達支援センター給食調理業務契約の締結
 第6号議案 (仮称) 静香会児童発達支援センター建設工事に伴う設備工事請負契約の締結
 第7号議案 (仮称) 静香会児童発達支援センター施設整備に係る各種備品購入契約の締結
 第8号議案 事業再構築補助金に関わる業務委託契約の締結
- ⑦ 第7回 令和5年3月28日(火)
 報告事項
 第1号報告 理事長職務執行状況
 第2号報告 事業再構築補助金の申請結果
 審議事項
 第1号議案 令和4年度社会福祉法人静香会各会計第3次補正予算
 第2号議案 社会福祉法人静香会規程類の一部改正
 第3号議案 管理職の選任
 第4号議案 各種業務委託契約の締結
 第5号議案 ほほえみ&みのり工房の備品購入積立金取崩と車両購入
 第6号議案 令和5年度社会福祉法人静香会事業計画
 第7号議案 令和5年度社会福祉法人静香会各会計収支予算
 第8号議案 県・町による監査の実施結果
 第9号議案 評議員会の招集
 第10号議案 社会福祉法人静香会定款変更

(2) 評議員会の開催

① 第1回 令和4年6月22日(木)

審議事項

第1号議案 令和3年度社会福祉法人静香会事業報告

第2号議案 令和3年度社会福祉法人静香会各会計決算報告
及び監事監査報告

第3号議案 社会福祉法人静香会社会福祉充実計画

第4号議案 社会福祉法人静香会定款変更

② 第2回 令和4年9月8日 決議の省略

提案事項 定款変更

③ 第3回 令和5年3月30日 決議の省略

提案事項 定款変更

(3) 監事監査

① 中間会計監査

令和5年1月30日(月) 悠雲寮応接室

令和5年3月28日(火) 悠雲寮応接室

森本監事・杉山監事

② 令和4年度事業及び収支決算監査

令和5年5月24日(水) 悠雲寮応接室

森本監事・杉山監事

(4) 苦情対応第三者委員会 なし

(5) 県・町による指導監査

① 令和3年10月26日(火)

このはな保育園 令和4年度県による指導監査

指摘事項・指導事項なし

② 令和4年11月15日

ほほえみ&みのり工房 令和4年度長泉町による財政援助団体等監査

指摘事項なし、意見・要望事項3点

(6) ISO9001

① 内部監査

悠雲寮・・・令和4年10/12、10/20、10/24、11/14、11/28、12/5、12/6

令和5年1/16、1/18、1/25 計10回

悠雲の家・・・令和4年10/12 計1回

ゆううん・・・令和5年1/16 計1回

ほほえみ&みのり工房・・・令和4年7/22、5年2/24 計2回

このはな保育園・・・令和4年7/22、8/19、8/25 計3回

② 外部監査（定期監査）

令和4年7/4.5、 11/24.25

計2回

監査機関：ビジネス・アシurances・ジャパン(株) 塩谷健吾監査員

(7) 職員の健康管理

- ① ストレスチェック制度を整備し、全職員にストレスチェックを実施した。(9月)
- ② インフルエンザ予防接種を全職員に実施した。(11月)
- ③ 定期健康診断を実施した。(夜勤のある職員は年2回、その他職員は年1回)

【定期健康診断検査結果】

総合判定	区分	令和3年度	令和4年度	内 容
A	異常なし	8	4	
B	軽度異常 問題なし	14	12	
C	要経過観察	31	47	体重（肥満・痩せ過ぎ）腰椎変形 食事（尿酸値・高脂血症・肝機能）
D	要治療 要精密検査	16	15	脂質異常・高血圧・尿潜血・便潜血 腰椎変形・貧血・視力低下・肝機能 胃 X-P 所見
E	治療中	11	14	高血圧・糖尿病・高脂血症
計		80名	92名	

(8) 内部・外部コミュニケーション

【内部】

内 容	実施計画	実 施 日	延べ回数
①管理職会議	月1回	4/20、5/17、6/16、7/20、9/14、10/20、11/29 12/20、1/23、2/21、3/22	11回
②経営会議	月1回	5/18、6/16、7/21、9/21、10/31、11/30、1/25、 3/8	8回
③施設巡回	隔月	5/23、8/8	2回
④業務日誌	開所日	①の報告、人事関係、HP更新、防災関係、 職員親睦会、労務関係、インフルエンザ情報、 新型コロナウイルス感染予防対応、不審者情報等	随時

⑤児童発達支援センター開園準備室会議	月1回	4/18、5/27、6/28、7/26、8/23、9/27、10/26、11/25、1/16、2/20	10回
--------------------	-----	---	-----

【外部】

内 容	実 施 計 画	実 施 日	延べ回数
①行政機関との話し合い	随時	5/11、5/11、5/31、6/22、6/23、7/28、9/9、9/30、10/12、11/2、12/12、12/13、1/31、2/16、2/28、3/16	16回
②公認会計士による指導・相談	月1回	4/26、5/18、6/21、7/19、8/24、9/27、10/25、11/24、12/21、1/26、2/20、3/22	12回
③社会保険労務士による指導・相談	月1回	4/14、5/12、6/9、7/14、8/10、9/8、10/13、11/10、12/8、1/12、2/9、3/9	12回
④児童発達支援センター造成工事・新築工事打合せ定例会	月1～2回	5/25、6/24、7/26、9/1、9/15、10/6、10/20、11/2、11/17、12/1、12/15、1/12、1/26、2/2、2/9	15回

(9) 広報誌「悠雲」

4月、7月、10月、1月 計4回、毎回900部発行
HPに掲載

(10) ホームページ・ブログ等の更新

①ホームページ・・・4/1、7/1、10/1、1/1 計4回更新

更新内容：理事長挨拶、事業報告・決算報告等情報公開

事業計画・収支予算、障害福祉サービス等処遇改善計画書

苦情対応・報告、広報誌「悠雲」、フェイスブックへのリンク

商品案内等

②ブログ・・・悠雲寮 週1～3回

ほほえみ&みのり工房 週2回更新

このはな保育園 月1回更新

③フェイスブック・・・随時更新

4. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

該当なし

(2) 物品購入（ススミダス開設準備として）

・固定資産

① 新築建物	一式	204,624,226 円
② 土地造成工事	一式	77,394,500 円
③ 外構工事	一式	10,128,774 円
④ 砂場	一式	335,674 円
⑤ 療育用スヌーズレン	一台	200,545 円
⑥ マイクロカットシュレッダー	一台	187,000 円
⑦ ボールプール	1組	272,800 円
⑧ ビジネスホン設置工事	一式	973,720 円
⑨ 冷凍冷蔵庫	1台	133,100 円
⑩ VPNネットワーク工事	一式	272,800 円
⑪ 給食管理ソフトウェア	一式	238,000 円
		計 294,761,139 円

・器具備品

① 保育用テーブル・椅子、事務机等	一式	1,687,050 円
② 保育用パーテーション	一式	639,300 円
③ 厨房器具用品、食器等	一式	586,479 円
④ 訓練用ロッカー	9台	474,900 円
⑤ 加湿空気清浄機	5台	392,700 円
⑥ スヌーズレン用品	一式	157,455 円
⑦ コードレス掃除機	1台	47,740 円
⑧ 傘立て	1台	25,300 円
⑨ チャイルドシート	11台	25,846 円
		計 4,036,770 円

○悠雲寮（障害者支援施設）

1. 令和4年度目標に対する取り組み

(1) 利用者に関すること

- ① 新型コロナウイルスや感染症の情報を正しく共有し、利用者に伝え、利用者が安全に楽しく過ごせる環境を作る。
- ・国や県の方針、法人や悠雲寮の方針などを、利用者に分かりやすく伝え理解を得るために、掲示物の掲示、利用者への説明、正しい感染予防のための講座を開催した。
 - ・感染状況によってルールを見直し、外出機会を設けたほか、悠雲寮内での行事やレクリエーションでは職員数を多く配置し、みんなで盛り上げる雰囲気を作った。
- ② 利用者満足度アンケートの集計結果の反映や自治会活動を充実させ、多くの利用者が楽しみにしている行事や外出を安全に実施する。
- ・前年度のアンケート集計結果から、要望を活動や食事メニュー、外出に反映した。
 - ・日頃から、利用者の皆さんに感染予防に協力いただけた事で、大きな混乱なく外出する事ができた。
 - ・2ヶ月に1回の利用者自治会活動を継続。利用者が意見を出しやすい環境になるよう、選択肢を多く用意したり、写真やイラストなども活用した。また、思うように意見を出せない利用者に対してすぐにフォローできるようにした。

【主な外出内容】

月	行き先	内容	昼食	利用者数
4月	御殿場市	公園(2カ所)	お弁当	全員
6月	富士宮市・裾野市	公園・サファリパーク	お弁当	全員
9月	富士市	公園	お弁当	26名
〃	伊豆市	虹の郷	レストラン	20名
10月	山梨県	道の駅	レストラン	8名
〃	沼津市	ららぽーと沼津	フードコート	14名
〃	富士市	公園	お弁当	14名

【主なレクリエーション内容】

月	内容	月	内容
4月	お花見・春の散策	10月	外出
5月	悠雲寮フェスティバル	11月	文化芸術祭
6月	外出	12月	クリスマス会
7月	盆踊り・花火大会	1月	新年会・鏡開き
8月	かき氷・スイカ割り	2月	節分豆まき
9月	悠雲寮フェスティバル・外出	3月	ひな祭り

③ 虐待防止委員会を実施し、利用者が安全に生活できるような環境を作る。

- ・月1回、法人内の障害者事業所間で虐待防止委員会を実施した。各事業所からの報告、情報共有、課題検討のほか、「障害者虐待防止」への取り組み規程の見直しを進めた。
- ・施設内では、毎月会議を行い、職員が不安や迷いなく利用者支援できるよう、研修を実施したほか、困り事を出し合い、安心安全な利用者支援や統一した支援ができるよう確認しあった。
- ・マネジメントカメラを随時確認し、虐待や不適切な支援に繋がりそうな場面の有無を確認。結果を上司に報告、会議で共有したほか、報道された虐待事案や不適切な支援を会議の場で伝え、自分たちの利用者支援を振り返る機会を設けた。

(2) 人材に関すること

① 経験年数や役職に応じた外部研修を受講し、月1回程度の内部研修を実施する事で、職員のスキルアップにつなげる。

- ・感染対策として Web 開催の研修を多く受講した。
- ・受講者は、研修をもとに、月1回実施している男性棟会議・女性棟会議・通所会議内で内部研修を行った。会議欠席者には別の機会を設け、各職員が内部研修に参加できるようにした。

【外部の研修】

月 日	研修名	参加人数	主催者
4 月	施設見学	2	
4 月 28 日	県知的障害者福祉協会	1	県知協
5 月 24 日	接遇・マナー・コミュニケーション講座	2	静岡県社協
5 月 24 日	事業所部会	1	長泉町
5 月 27 日	福祉職が知っておきたいコンプライアンス講座	2	静岡県社協
5 月 27 日	施設長・主任者等合同会議	1	県知協
6 月 6 日	人が育つ組織づくり講座	3	静岡県社協
6 月 16 日	給食施設 衛生・栄養管理講習会	1	静岡県給食協会
6 月 23 日	キャリアパス チームリーダーコース	1	静岡県社協
7 月 5 日	栄養士研修会	1	静岡県給食協会
7 月 13 日	東部成人福祉施設長連絡会議	1	静岡県社協
7 月 19 日	事業所部会	1	長泉町
9 月 20 日	キャリアパス初任者コース(3回)	1	静岡県社協
10 月 4 日	安全管理者法定講習	1	静岡県公安委員会
10 月 7 日	共感を得る「ことば」講座	1	静岡県社協
10 月 17 日	高齢者・障害者施設のための感染症講座	2	静岡県社協

10月28日	業務の定着化を図る教え方講座	2	静岡県社協
10月28日	磐田学園強度行動障害研修会	1	磐田学園
11月2日	セルフリーダーシップのススメ	2	静岡県社協
11月9日	事業所部会	1	長泉町
11月10日	防災講習会	2	長泉町
12月	障害児・者福祉サービス事業者説明会	3	静岡県健康福祉部
1月6日	福祉職員のための成年後見制度理解とセミナー	2	静岡県社協
1月19日	施設看護師に求められる役割とは	2	静岡県社協
2月9日	磐田学園強度行動障害研修事例発表会	3	磐田学園
2月22日	長泉町個別避難計画研修会	1	長泉町
3月4日	障害者の健康づくり研修会 栄養管理と健康 運動と健康	1 5	全国障害者総合福祉センター
3月9日	甲種防火管理新規講習	1	一般財団法人 日本防火・防災協会
3月16日	社会福祉法人・社会福祉施設運営管理研修会	4	静岡県社協
3月20日	事業所部会	1	長泉町

【内部の研修】

月 日	研修内容	参加人数	講師
4月15日	防災関係新人研修	2	防火管理者・防災係
4月18日	医務による新人教育	4	看護師
4月27日	衛生チェック・摂食・嚥下	25	看護師
	障害者虐待防止への取り組み規程の説明	25	課長
5月16日	炊き出し訓練	3	防火管理者・防災係
5月25日	利用者家族とより良い関係づくり	28	支援員
6月29日	精神疾患の理解について	28	主事
	食中毒について	28	看護師
7月26日	手洗いの重要性	28	栄養士
9月28日	火災発生時の対応について	27	防火管理者・防災係
10月12日	起震車体験	11	長泉町
10月26日	欠席時対応加算について	27	主事
	権利擁護について	27	主事
11月29日	感染症について	27	主事
12月23日	強度行動障害について	28	支援員
1月10日	正しい手洗いと手指消毒	28	看護師
3月31日	次年度事業計画説明		施設長
8月	感染症基礎・コロナウイルス感染症 動画視聴	31	

② 月1回開催予定の男性棟会議・女性棟会議・通所会議で、支援の不安や悩み・困りごとを伝え、共有・検討し、安心して業務出来るようにする。

- ・各会議を月1回行い、会議内で共有できるような場を作った。
- ・どのような事でも抱え込まないようにするために、話しやすい雰囲気、風通しのいい環境になるよう、日ごろから会話によるコミュニケーションを心掛けた。

(3) 地域に関すること

① コロナ禍であっても安心してイベント等に参加できる方法を見つける。

- ・正しい情報を共有し、基本的な感染予防対策をとる事を実施。
- ・滞在時間を短くする、人混みを避けた場所でゆっくり過ごす、グループ分けするなどして、利用者の希望や目的にあった外出を実施した。
- ・季節のお祭りは、人混みが予想されたため、感染予防として見合わせた。

② 大学・短期大学・専門学校等の実習生・ボランティアに対して、受け入れ以外にできる事を見出す。

- ・実習は、コロナウイルスの流行状況をみながら、通所で受け入れを行った。
- ・理美容のボランティアを継続。流行状況によって中止した月があった。
- ・コロナ以前は、不二聖心女子学院が年2回、悠雲寮で奉仕活動を行っていたがここ数年は学校の方針もあって奉仕活動は中止となり、学校から手作りのクリスマスカードが届いている。今回は、手作りの夏飾りと、手作りのクリスマスカードを届けて下さった。

【実習受け入れ】

学校名	期間	学年	人数
知徳高等学校	6/13～6/17	1年	3名
〃	9/5～9/9	2年	2名
〃	9/12～9/16	1年	3名
〃	10/31～11/11	1年	3名

【ボランティア】

業務内容	回数	延べ人数	備考
理容	11	33	沼津市内理容師有志
美容	5	15	Hair cut KAZO
計	16	48	

③ Webを有効活用し、地域、近隣事業所、他機関との連携を図る。

- ・Webによる会議や研修の意見交換の場において、積極的に発言し、情報共有した。

(4) 経営に関すること

①国や県からの通達内容を確認

- ・国や県の情報や文書を職員間で回覧。内容を確認しあい、みんなで共有した。
- ・特にコロナウイルスについては、傾向や対策を意識し、正しく予防できるよう努めた。
- ・補助金申請や、県や町の支給品に対して、必要な物品を申し込んだ。
- ・法人や事業所のルールを正しく理解し実行するために、業務日誌の指示事項などを職員間で回覧し、会議の場でも確認し合った。

②光熱費などの無駄を省く。

- ・前年度の使用量と比較。使用量は削減できていても値上げしている事から、他に省ける事はないか出し合い、削減のために対策をねって実施した。
- ・電気代については無駄を省く対策をとった。夏に備え、差しの強い男性棟の居室外側に日よけ対策用の枠組みを設置し、よしずの効果が上がるようにした。また、室内に日差しが多く入る面には、すだれやタープの着脱がスムーズにできる部品を設置した事で、職員が気候に合わせて簡単に日よけ対策できるようにした。冬は、エアコンの設定温度は例年より低めの目標設定温度。床暖房を併用して光熱費の削減を図った。

③災害時に備え、実践的な訓練を実施し、事業継続計画の見直しをする。また、感染症対策委員会を設置し、感染拡大防止及び事業継続のための体制を整備する。

- ・障害者事業所間で防災委員会を隔月で実施。障害者事業所全体の課題、各事業所の課題などを挙げたほか、課題解決に向けた対策も検討した。
- ・得た情報を事業所内で共有したほか、会議をもとに実際に試して取り入れた事もあった。
- ・10/27(木)障害者事業所間で、事業継続計画に沿った合同訓練を実施。前年度の反省と実際に活かせる内容にする事を意識した。
- ・感染症対策委員会では、防災委員会と同様に、障害者事業所全体の課題、各事業所の課題などを挙げたほか、課題解決に向けた対策も検討した。

【防災訓練】

4月	新人教育・火災想定避難訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練
5月	火災想定避難訓練・炊き出し訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練
6月	防災倉庫点検・消火訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練
7月	夜間想定避難訓練・火災想定避難訓練消火訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練
8月	長泉町総合防災訓練(南一色)職員による報告のみ
9月	夜間想定避難訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練
10月	障害者事業所避難訓練(事業継続計画)・火災想定避難訓練・起震車体験 災害用伝言ダイヤル171訓練

11月	火災想定避難訓練・災害用伝言ダイヤル 171 訓練
12月	災害用伝言ダイヤル 171 訓練
1月	防災倉庫と非常時備蓄品確認・災害用伝言ダイヤル 171 訓練
2月	災害用伝言ダイヤル 171 訓練
3月	火災想定避難訓練・災害用伝言ダイヤル 171 訓練

④開所日・利用人数

(ア) 施設入所

- ・定員 50 名に対して、男性 28 名、女性 23 名が利用中。
- ・新規入所者 2 名、退所者 3 名。

(イ) 生活介護

- ・開所日数は月の日数マイナス 8 日を目指して開所した。
- ・男性棟でコロナクラスターが発生した際、感染拡大を防ぐために通所を閉所した日があった。退所者や新規契約者がいたが、前年度と同じ利用者数だった。

【生活介護利用者延べ人数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3 年度	1430	1472	1408	1472	1495	1430	1495	1430	1495	1495	1280	1472	17374
R4 年度	1430	1495	1430	1495	1485	1430	1495	1430	1495	1472	1280	1472	17409

⑤短期入所事業・日中一時支援事業

(ア) 短期入所事業：定員 6 名

- ・長期間利用した方は、終了と新規の方を合わせて 4 名。(男性 2 名・女性 2 名)
- ・コロナウイルスの流行状況や、入所施設の利用者状況をみて、受け入れ状況を検討したため、受入れをお断りした時期があった。
- ・実人数は前年度より増えたが、延べ人数は減った。

(イ) 日中一時支援：定員なし

- ・短期入所同様、受入れをお断りした時期があったが、受入れ場所を通所にして受入れを継続した。
- ・新規契約の利用者は増えたが、利用日数が少し減少傾向にあった。コロナウイルス感染によって、施設側の受入れできない状況や、普段利用している方や同居者が自宅療養になり、利用できない状況があった。

【短期入所受入れ状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3 年度	124	142	144	138	121	96	93	112	98	112	119	116	1415
R4 年度	130	111	103	134	98	126	97	102	102	81	99	120	1303
実人数	7	8	7	8	5	8	7	10	10	6	9	11	96

【日中一時支援受入れ状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3年度	56	55	51	53	41	38	49	43	47	40	43	55	571
R4年度	48	41	50	45	50	51	43	44	46	33	42	51	544
実人数	6	5	5	4	6	6	6	4	5	6	6	7	66

2. その他

①利用者の状況

	定員	登録者	備考
生活介護	60名	68名	男性39名・女性29名 契約終了4名…他事業所に入所・病院へ移行・死亡 新規契約4名
施設入所	50名	51名	男性28名・女性23名 契約終了3名…他事業所に入所・病院へ移行・死亡 新規契約2名…男性1名・女性1名

②年齢内訳

【年齢内訳】

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～	計
男性	0	1	3	6	17	1	0	0	28
女性	0	1	1	4	10	2	0	5	23
通所	1	1	7	4	1	1	0	0	15
計	1	3	11	14	28	4	0	5	66

【平均年齢】

	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男性	49.9	63	27
女性	55.0	77	28
通所	39.6	62	19

③日課

【入所】

入所	月	火	水	木	金	土	日
AM	体力活動 入浴	体力活動	体力活動	体力活動	季節行事 音楽活動 レクリエーション 体力活動	入浴・清拭	入浴・清拭
PM	絵画活動 各棟活動 入浴	絵画活動 各棟活動 入浴・清拭	絵画活動 各棟活動 入浴・清拭	絵画活動 各棟活動 入浴・清拭	入浴・清拭 各棟活動	ミニ喫茶	ミニ喫茶

【通所】

	月	火	水	木	金	土	日
AM	室外活動 (雨天時室内)	室外活動 (雨天時室内)	室外活動 (雨天時室内)	室外活動 (雨天時室内)	絵画活動	閉所日又は 生活介護 お楽しみ活動	閉所日
PM	室内活動 身支度 帰りの会	室内活動 身支度 帰りの会	室内活動 身支度 帰りの会	室内活動 身支度 帰りの会	室内活動 身支度 帰りの会	ミニ喫茶	

④ 日常健康管理の状況

	入所	通所
体重測定	毎月 1 回実施	4 ヶ月に 1 回実施
検温	毎日実施	毎日実施
口腔衛生	毎月 1 回実施	年度初めに実施
歯科検診	6/30	なし
インフルエンザ予防接種	11/1	11/17
コロナワクチン予防接種	4 回目 9 月・5 回目 2 月	4 回目 9 月・5 回目 2 月
利用者健康診断	11/8～11/11	なし
内科嘱託医相談	毎月 1 回実施	なし
体調の変化	日々確認	日々確認

⑤ 入院状況

2022.4.5～	入所女性	尿路感染	5.12 退所・病院に移行
2022.4.11～	通所男性	内科的な理由	4.20 他界
2022.6.3	入所男性	てんかん・統合失調症	6.30 退院 7.23 肺炎で入院 10/11 他界
2022.8.15	入所男性	てんかん・肺炎	9/8 退院
2022.10.5	入所女性	股関節手術	10.21 退院
2023.3.19	入所男性	肺炎	3.24 退院

⑥ 日常生活

- ・感染対策として、男性棟、女性棟、通所で空間を区切り、活動もそれぞれで実施。利用者の状態をより深く把握できる体制を作った。
- ・体力維持や機能維持を意識した活動を行った。体力活動では、長距離の歩行が難しい利用者も、中庭やグラウンドに出て活動するようにした。機能維持では、個々に合ったメニューを提供できるよう、会議で検討を続け、活用できそうな物品の購入も進めた。
- ・体調の変化に早い段階で気づき、対応できるよう、日々の様子を把握したり、気

になる事は複数の職員で確認し合い、早めの通院や電話で病院に相談する等の対応をした。

- ・自宅等への外泊は感染予防の関係から中止した。短時間の面会は、流行状況や体調等を確認し、予防策をとりながら積極的に受け入れるようにした。

⑦個別支援

- ・利用者や保護者の要望に耳を傾け、取り入れながら計画を作成。4か月に1度の見直しを行った。
- ・日常の様子を月に1~2回程度、保護者や後見人等へ連絡してお伝えした。

⑧環境整備

- ・利用者の生活環境を守るために、毎月、計画カレンダーを作成。共有部分の清掃や手入れ、修理など、年間通して実施した。担当者が定期的に敷地内外を確認し、何かあれば早めに対応できるようにした。
- ・6月には業者による全館消毒を実施し、害虫駆除を行った。

⑨給食管理

- ・利用者の身体状況によって、超刻み食、刻み食、一口食、減塩食などの食事形態を提供した。
- ・体調によってはお粥食を提供した。
- ・地元静岡県内の食材をテーマとした食事を提供した。毎月テーマを決め、事前にポスターを掲示。当日は栄養士や職員から、その地域や食材について説明の場を設けてから提供した。

【提供した地域の食材】

月	市町	食材
4月	函南	丹那牛乳
5月	由比	桜えび
6月	伊豆	ニューサマーオレンジ
7月	天城	わさび
8月	長泉	あしたか牛
9月	長泉	白ねぎ
10月	御殿場	御殿場こしひかり
11月	長泉	四ツ溝柿
12月	三島	三島甘藷
1月	伊豆の国	いちご
2月	沼津・下田	海の幸
3月	浜松	浜松餃子

【給与栄養目標量】 厚生労働省「食事摂取基準」より

<男性>

エネルギー	1800kcal
蛋白質	90 g
塩分相当量	7.5 g
鉄	11 mg
カルシウム	600 mg
ビタミンA	600 μg

<女性>

エネルギー	1650kcal
蛋白質	70 g
塩分相当量	7.5 g
鉄	11 mg
カルシウム	600 mg
ビタミンA	600 μg

⑩厨房内衛生管理

- ・週 1～2 回の床清掃
- ・調理台・炊飯器・配膳台など、係り分担を決めての清掃（チェック表使用）
- ・厨房職員全員の月 2 回の検便検査（冬は 1 回）
- ・調理従事者の調理前の体温・体調チェック
- ・年 2 回の業者による厨房内消毒と月 1 回の害虫除去点検
- ・年 2 回の業者によるグリストラップ清掃
- ・食器及び調理器具類の消毒・殺菌
- ・冷蔵庫・冷凍庫の温度確認
- ・食材納品時の賞味期限・納品温度の確認
- ・調理時の中心温度の確認

2. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備 考
各通路	264,550	避難誘導灯交換工事
男性棟 居室	117,150	日除け設置工事、網戸張替、窓固定
男性棟	61,600	トイレ詰まり修理、個室ドア蝶番交換
通所	70,400	トイレ手洗い器自動水栓交換修理
さくら棟	17,050	鍵交換工事
静養室	39,688	壁補修・クロス張替え、錠取替工事
食堂	54,450	グラウンド側窓 補修工事、入口ドア戸当り補修
支援室	69,520	ブラインド取付
医務室	50,413	ガラスフィルム張替工事
事務室	13,200	両開きドア戸当たり取替
その他附属設備	191,400	機器取替、補修(高圧機、合併処理槽、カメラ 等)
VPN ネットワーク	129,800	ススミダス開設に伴う変更工事
計	1,079,221	

(2) 物品購入

・固定資産

① さくら棟2階エアコン（交換設置工事含む）	1台	390,500円
② 活動用 遮熱テントシールド大	1張	231,850円

・器具備品

① 衣類乾燥機	1台	69,300円
② CDレシーバー	1台	44,000円
③ 空気清浄機	1台	72,930円
④ 全自動洗濯機	2台	91,960円
⑤ よしず	1張	20,000円
⑥ ファンクーラー	1台	59,800円

1、部門目標に対する取り組み

(1) 支援に関する事

家庭・病院・各市町・嘱託医相談支援事業所と連携を図り、利用者の生活面に配慮し、課題解決に繋がる支援に努めた。

①作業の効率化、工賃アップ

- ・毎週作業会議を実施し、利用者個々が持つ能力を確認しながら、作業工程等の工夫や改善に努めた。
- ・コロナ禍ではあったが、地域のイベント販売が戻ってきた事、悠雲寮の洗濯請負作業を頂けた事が、売り上げアップに繋がった。

【提供作業】

		場所 (内容)	R3 年度売上	R4 年度売上	増減
施設内作業	パン作業	パン製造・販売	9,113,965 円	8,225,100 円	▲888,865 円
	菓子作業	焼き菓子製造・販売	9,047,842 円	10,116,850 円	1,069,008 円
	下請け作業	箱折・ビニール拭き・役場、企業受託作業	1,752,172 円	3,072,000 円	1,319,828 円
	ランチ作業	水・木曜 昼食提供	1,723,475 円	2,580,850 円	857,375 円
	縫製作業	マスク 雑巾 保育園用品製造・販売	287,250 円	353,590 円	66,340 円
施設外作業	農作業	野菜販売	3,245,817 円	3,868,476 円	622,659 円
	清掃作業	長泉町浄配水場・役場駐車場・ その他委託場所 (草刈り 清掃 他)			
	園芸作業	役場・清掃事業所・浄配水場・ その他委託場所 (花壇管理)			
	施設外作業	邦栄商興株式会社 (清掃業務補助)	1,949,400 円	2,093,400 円	144,000 円
その他	自販機、イベント販売等 (飲み物、ポップコーン 他)	101,815 円	163,165 円	61,350 円	
合 計			27,221,736 円	30,473,431 円	3,251,695 円

【令和4年度 利用者工賃】

	R3 年平均工賃	R4 年平均工賃	最高額	最低額
就労移行支援	15,958 円	19,554 円	25,740 円	900 円
就労継続支援B型	17,507 円	17,508 円	31,560 円	150 円

②利用者支援 (個別支援計画)

- ・就労継続B型は6ヶ月毎、就労移行・就労定着は3ヶ月毎に面談を実施。支援状況や要望の確認を実施。個別支援計画に反映した。
- ・利用者個々の体調や作業の取り組み具合を考慮し、新しい作業への挑戦の機会を設定した。

③虐待関係

毎月事業所内で虐待防止会議を実施。支援の中での不適切な対応がなかったかの確認や虐待防止に関する職員研修等を実施。

事業所内での虐待、身体拘束はなかった。

虐待防止会議の内容は法人内虐待防止員会にて共有した。

(2) 人材に関する事

①外部・内部研修

・外部研修

受講必須のサービス管理責任者の更新研修、福祉サービス事業者説明会に参加。例年参加している就労研修や、精神障害の理解に係る研修に関してはコロナ禍で参加を控えた。

・内部研修

虐待防止に関する研修を主に、支援に必要な内容を月に1回程度実施した。

【外部の研修】

月 日	研修名	参加人数	主催者
8月	社会福祉法人 経理応用講座 (WEB)	2	静岡県社会福祉協議会
9月	社会福祉法人 予算管理講座 (WEB)	2	静岡県社会福祉協議会
9/14	食品衛生者養成講習会	1	静岡県食品衛生協会
10月	サービス管理責任者等更新研修 (WEB)	1	静岡県障害政策課
10月	社会福祉法人 会計実務専門講座 (WEB)	2	静岡県社会福祉協議会
10/25	食品衛生責任者 衛生管理講習会	1	静岡県食品衛生協会
11月	社会福祉法人 税務事務 (消費税) 専門講座 (WEB)	2	静岡県社会福祉協議会
1月	令和4年度障害者福祉サービス事業者説明会 (WEB)	4	静岡県福祉指導課
2月	伊豆医療福祉センター 公開セミナー (WEB)	2	伊豆医療福祉センター
2月	社会福祉法人 経理応用講座 (WEB)	2	静岡県社会福祉協議会
2月	社会福祉法人 決算実務講座 (WEB)	2	静岡県社会福祉協議会
2/22	個別避難計画研修会	2	長泉町福祉保健課

【内部の研修】

月 日	研修名	参加人数	講師
4/25	社会福祉法人静香会「虐待防止への取り組み規程」の説明	15	課長
5/30	『火災時の避難について』	15	担当職員
6/27	防災研修『非常持ち出し袋の説明』	15	担当職員
7/6	職員研修「虐待防止法の理解(通報について)」	14	課長
8月	コロナ高原検査キットの使用方法について	14	課長・悠雲寮看護師
9/14	AED 外部研修	13	アルソック
10/31	権利擁護について	14	課長
11/28	差別解消法について	14	課長
11/28	食中毒について	14	課長

1/30	行動制限や身体拘束の解消にむけての支援	14	課長
2/27	虐待事例研修	14	課長
3/31	新年度 ほほえみ&みのり工房運営計画説明	11	課長

②ルールの特化、業務の効率化、情報共有

- ・各種業務の手順書を確認し、その都度状況に合わせた内容に更新した。
- ・翌週の予定を確認、組み立てるために、毎週作業会議を実施。忙しい作業には職員を多く配置する等、職員が協力して業務を遂行できるように配慮した。
- ・県や国からの新型コロナ関連情報を随時確認。会議の場を利用し、基本的感染対策や注意事項を職員全員に周知徹底を図った。

(3) 地域に関する事

①ボランティア、学生実習受け入れ

コロナ禍ではあったが、感染症対策を実施し積極的に受け入れた。

知徳高校に関して、入所系施設がコロナ禍で実習を受け入れてもらえないという事で今年度初めて受け入れた。

【体験学習等の受け入れ】

所 属 等	年間回数等	延べ人数	内容
長泉北中学校（支援級）	5回	30人	作業学習
長泉北中学校2年生(職業体験)	1回	3人	作業学習
御殿場特別支援学校	1回	10人	職場実習
御殿場特別支援学校	1回	7人	施設見学
沼津特別支援学校愛鷹分校	1回	4人	職場実習
静岡県立短大	1回	30人	保育実習
小田原短大実習	1回	20人	保育実習
横浜保育福祉専門学校	1回	11人	保育実習
知徳高校	6回	84人	施設実習
長泉町3年目教職員	2日	6名	施設見学・説明等

【ボランティアの受け入れ】

所 属 等	年間回数	延べ人数	内容
地域の方々	75	75	作業の手伝い
ママズ	20	20	作業の手伝い

②地域のお祭りや行事に積極的に出店

	行事名	回
4月	鴻池販売(2) モクカフェ	3
5月	鴻池販売(1) モクカフェ シニアクラブ販売 グランドゴルフ協会販売	4
6月	鴻池販売(2) 民生販売	3
7月	鴻池販売(2) 民生販売 なめりフェスティバル 駿河平夏祭り(買取)	5
8月	鴻池販売(1)	1
9月	鴻池販売(2) 民生販売 3市町民児協販売	4

10月	鴻池販売 (2) 民生販売 身障福祉会スポーツ大会販売 福祉健康まつり	5
11月	鴻池販売 (2) 民生販売 モクカフェ シニアクラブ販売	5
12月	鴻池販売 (2) 民生販売 障害者週間啓発活動販売	4
1月	鴻池販売 (2) 民生販売	3
2月	鴻池販売 (2) 民生販売	3
3月	鴻池販売 (1) 民生販売	2

③地域の方の福祉ニーズに対応する

- ・長泉町障がい者自立支援協議会事業所部会に参加。
町内の福祉事業所が集まり、利用者支援の中での困り等の共有を行った。

(4) 経営管理に関する事

①感染症対策を万全にし、利用者の通所率アップ（収入アップ）を図る

- ・新型コロナ含む感染症対策として以下内容を実施

毎日の朝礼・終礼にて手洗い・手指消毒・マスク着用等の感染症予防を促した。

新型コロナウイルスに関する県や国からの情報確認を随時行った。

事業所内の換気・消毒、蜜を避ける行動の徹底。

利用者通所時の検温実施（自動体温測定器）

利用者長期休暇時の健康チェック表の活用。

県や国からのコロナ対策に関する補助金等を活用。

（作業用マスクの購入、消毒類購入 等）

県からの抗原検査キットを活用し、職員の定期検査を実施した。

※年間通して職員、利用者ともにコロナ感染者が出たが、クラスターに繋がる事はなく、事業所を閉所する事もなかった。

【通所内訳、前年度比較】

	定員	延べ登録者	平均通所人数 ／日	令和4年度 延べ利用者数	令和3年度 延べ利用者数	比較
就労移行支援	6名	6名 ※1	2,6名/日	694人	1,198人	▲504人 ※2
就労継続B型	34名	50名	35,3名/日	9,490人	9,680人	▲190人 ※3
就労定着支援	—	8名	—	79人	60人	19人

※1→内アセスメント利用1名（10日間）

※2→令和3年度に就職者が多く、4月登録者2名スタート。近隣市町の相談事業所、精神科病院、特別支援学校等、様々な所に募集の声をかけたが、思うように集まらなかった。

※3→長年利用されている方の高齢化が進み、通院や他サービスを利用する為の欠席や入院のための長期欠席が増えている。

悠雲寮、悠雲の家のコロナ感染の欠席で、延べ利用者数減となった。

- ・会議にて毎月の水光熱費の使用状況を報告。温水やエアコンの使用方法について検討しながら経費削減に努めた。

②非常災害対策の強化

法人内障害事業所防災委員会を隔月で実施。法人内障害施設の防災の備え、訓練状況等を共有。また、『事業継続計画』に沿った非常災害訓練を10月に実施。有効性を検証し見直しを実施した。

【防災訓練実施内容】

	訓練内容		訓練内容
4月	災害伝言訓練	10月	障害者総合防災事業継続訓練 防災備品確認・災害伝言訓練
5月	炊出し訓練 防災食体験	11月	火災想定避難訓練 通報訓練
6月	送迎時伝達訓練	12月	地震想定避難訓練 災害伝言訓練
7月	火災想定避難訓練	1月	地震想定避難訓練 貴重品持ち出し訓練
8月	地震想定避難訓練 災害伝言訓練・AED研修	2月	火災想定避難訓練
9月	地震想定避難訓練 災害伝言訓練	3月	地震想定避難訓練 災害伝言訓練

③感染症対策委員会の設置

法人内障害事業所感染症対策委員会を毎月実施。各事業所の新型コロナ感染状況や対応方法について共有。事業継続の為の体制の見直しも検討した。

(5) 就労支援

①個々に適した就労先の開拓

利用者の作業面、身体面、精神面を考慮した中で企業見学・実習を提案。

令和4年度は就職者はなし。

登録利用者5名のうち、2名の方が離職直後で失業保険の手続きと

就労の為の訓練を実施。2名は精神状態が安定せず休みがちで求職活動自体が出来ていない。1名は支給期間の2年間を使い切り、B型に移行している。

【企業見学・実習先】

企業名	見学	実習	人数	備考
(株) 鴻池運輸	○		1	
悠雲寮	○		1	

②就職者に対し、企業と連携を取り職場定着を図る

・これまでに就職している企業に対し定期的に連絡、訪問を実施し、就職した方や企業側の問題点・課題を確認、解決に繋がる支援を実施した。

【職場定着実施企業】

企業名	就職者	職種	就労定着支援事業
フジ産業(株) がんセンター内	1名	厨房補助	
東レ(株) 三島工場	3名	清掃作業	
(株) 鴻池運輸	4名	容器仕分け	4名
マクドナルド 246長泉店	1名	調理補助 清掃	1名
ウェルシアオアシス	1名	清掃業務	1名
ライオン歯科	1名	医療器具消毒	1名
アルムメディカルサポート	1名	清掃業務	1名

2、その他

①施設行事

作業へのモチベーションアップの 為に、感染症対策を万全にして施設内で出来る内容を実施した。

- ・6月 梅雨を乗り切ろう！イベント（テルテル坊主づくり+ランチ）
- ・8月 納涼かき氷大会（1回目）
- ・9月 納涼かき氷大会（2回目）・社会訓練（ぶどう狩り）
- ・12月 クリスマスランチ（ケーキとチキン2回に分けた）
- ・1月 鏡開き・成人を祝う会・お赤飯ランチ
- ・2月 鬼退治ゲーム・節分ランチ
- ・3月 1年お疲れ様会

3、施設設備の補修及び器具备品の購入等

（1）施設設備の補修

1階厨房 エアコンドレン漏水修繕	26,400 円
テレビブースター工事	110,000 円
1階 多目的トイレ洗浄ユニット修理	40,700 円
計	177,100 円

（2）物品購入

・固定資産	
該当なし	
・器具备品	
メロディウイーク（チャイム）	74,800 円
計	74,800 円

地域移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
区分調査	3	4	2	6	5	3	8	4	0	3	3	7	48

R4 年度 新規計画相談開始人数…12 人 ※以下は請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	14	14	9	21	9	16	13	17	12	10	13	10	158
継続相談	29	36	34	27	23	36	28	29	44	18	46	58	408
地域定着	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
地域移行	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
区分調査	2	3	5	3	3	1	1	4	6	4	1	4	37

※地域定着：継続 1 名 緊急対応：1 件（体調確認）

※地域移行：R4 年度 1 名（R4.2 月契約→R4.6 月地域へ退院）

- ② 複雑化・多様化しているケースに対し、個人の価値観に偏らないよう、ゆううん全員で検討する。
ゆううんだけでは解決できない困難事例について、町内他相談支援事業所の意見を取り入れ、長泉町として対応策を検討する。

ア、毎朝 8：30 からのミーティングでケースの動きを確認した。

イ、毎月開催される自立支援協議会相談支援部会に参加。

※相談支援部会参加者

行政、町内相談支援事業所 3 ヶ所

長泉町より委託されている町外相談支援事業所 2 ヶ所

昨年に続き、以下の流れで開催している。（月 1 回 第 3（水）に開催）

前半 45 分：事例検討

「事例提供」「ファシリ」「書記」を輪番制で担当。

提出された事例の対応策について皆で検討。

後半 45 分：情報共有

各事業所より、困難事例や対応している相談者の傾向、新規事業所情報などを話し合った。

ゆううん内だけでは対応策が見いだせないケースについて事例検討いただき、ピアサポーターや圏域 S V からのアドバイスを生かした支援提供につながった。

< 障害者虐待 >

対応件数：6 件（身体的：3 件、心理的：1 件、不適切：1 件、その他（事件性あり）：1 件）

<苦情対応>

R4年度、苦情においては発生していない。

(2) 人材に関すること

① 内部研修を通して、職員の資質・能力の向上を目指す。

(先輩職員の同行、虐待防止会議、制度理解の研修、外部研修内容の共有 等)

ア、研修情報が入った際は自主的に希望をあげ、積極的に参加し、研修の学びや感想、その後の有効性についてマネジメントレビューにて報告した。

<外部研修参加実績> 計 21 件 以下抜粋

- ・地域移行研修
- ・障害特性に関する研修
- ・障害支援区分認定調査員研修/フォローアップ研修
- ・重層的支援体制整備事業に関する研修
- ・主任相談支援専門員研修
- ・法定研修演習講師（初任者研修、サービス管理責任者基礎／実践／更新研修）

<内部研修実績> 計 21 件

- ・虐待防止会議にて 9 件
- ・防災対策会議にて 4 件
- ・感染症対策会議にて 8 件
- ・この他、看護師による抗原検査キット使用方法、消火訓練、自己研鑽内容の発表を実施。

② 朝ミーティングやケース検討会で事例共有・事例検討する機会を設け、職員一人が抱え込まない対策をする。

- ・今年度ケース検討会は1件。
- ・毎朝 30 分程度のミーティングを継続。対応に困ったときの相談の場となった。

(3) 地域に関すること

① 自立支援協議会の場へ、日々の支援から得られたニーズを提供し、行政と連携し対応策を検討する。

- ・前年度、「地域課題としてどのように解決に結び付けていくのか」が課題となっていた。

自立支援協議会の機能のひとつに課題抽出・検討があることを意識し、今年度、相談支援部会では課題整理のため「事例積み上げシート」を作成し、事例検討や相談のあがったケースをそのまま終わりにせず一覧

にまとめて進捗を追う中で、同じようなケースがないか、同じような課題が複数件あるのではという視点で集計した。

他専門部会からも運営会議は課題報告があり検討した。

課題の解決までは至らなかったが、自立支援協議会にて、協議委員へ提案するところまで進めることができた。

- ・話し合いの中で「知りたい」が出たときに、行政の協力もあり見学会などの機会つながった。(1月：若者サポートステーション見学会の実施
2月：宅建協会エステート沼津の取り組み説明会)

② ハッピーのわや利用者支援の中から得られる障がいのある方との楽しい関りや強みについて、SNSを用いて発信し、啓発活動の一助を担う。

*ハッピーのわ

町内在住・在勤・在学の18歳以上の障害者で、集合場所まで自力で来て、帰る事ができる方。(自力では移動が難しい方は保護者等の送迎を利用)

R2年度より、町外へ引っ越された方についても、ハッピーのわを楽しみとさせていただきます。ご自身で参加できる方においては、参加可としている。(R4年度もリモートで参加していただいている)

・開催数

R3年度 7回開催 延べ参加人数：93名

R4年度 7回開催 延べ参加人数：78名

- ・コロナ流行状況に応じ、LINEビデオ通話や電話の方法で開催した回もあったが、昨年よりも集合開催ができ、楽寿園の散策やながいずみ観光交流協会様によるワークショップに、楽しく参加していただいた。

- ・年間開催後のアンケート結果(20名より返信あり)

<いただいた意見>

参加された方の内13名から「とても楽しかった」と回答。

「ハッピーのわとても楽しみにしています。」

「また楽寿園に行きたい」

「(土)は休みという気持ちが強くなかなか参加できずすみません」

「初めて参加した時、女性が少なく行きにくくなり気持ちが重くなってしまいました」等

- ・悠雲寮のブログに開催内容を載せ、活動を周知した。

開催日・内容

※7回開催

内容	日付	時間	場所	参加人数
オリエンテーション ハッピーのわカレンダ ー作り	5月14日 (土)	13:30~14:30	福社会館	16人
ながいずみ観光交流協 会の協力を得て、 ワークショップ開催 (古代マグネット作り)	6月11日 (土)	13:30~14:30	コミュニティ長 泉	14人
ながいずみ観光交流協 会の協力を得て、 ワークショップ開催 (風鈴作り)	7月9日 (土)	13:30~14:30	コミュニティ長 泉	13人
夏の過ごし方・秋の味 覚について (リモート)	9月10日 (土)	13:30~14:30	リモート開催	10人
	9月12日 (月)	12:30~12:45	ほほえみ&みの り工房	
芸術の秋を楽しむ会 (障がい者週間に展示 する作品作り)	10月15日 (土)	13:30~14:30	コミュニティ長 泉	11人
紅葉を楽しむ会 (楽寿園散策)	11月12日 (土)	13:00~15:00	楽寿園	7人
年末年始の過ごし方・ 寒さ対策について(リ モート)	12月17日 (土)	12:00~13:30	ほほえみ&みの り工房 他 リモート開催	7人

(4) 経営管理に関すること

- ① 印刷前の内容確認、離席時のPCスリープなど、コスト削減に努める。
国保連で指定された加算について個々が把握し、委託相談(基本相談)の充実を目指す。

ア、コスト削減として、会議次第の印刷をやめ、個々のPCに表示し進行した。

イ、手厚い対応をとったときに加算としての収入となる「集中支援加算」を意識した取り組みを実施してきた。

集中支援加算件数…20件

ウ、今年度より、日々の相談業務の中から委託相談業務件数を抽出し、町へ報告する取り組みが始まった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定相談 +委託相談 件数	759	773	760	800	782	843	780	720	786	772	795	1032	9602
委託相談 件数	389	389	261	216	283	351	288	308	322	423	407	541	4178

R3年度との比較はできないが、特定相談・委託相談・指定一般相談と各種相談業務を提供する中で、今委託相談をしている、今は特定相談のヒアリングをしていると意識して取り組めるようになった。

② 緊急事態に備え、事業継続計画 (BCP) や防災マニュアルを見直し、日常生活における防災対策を整備する。

ア、新型コロナウイルス感染予防策

- ・出勤前の健康チェック表の記載や、週明けの抗原検査キットの実施。
- ・訪問前後でマスクの取り換えをし、持ち込みを防止。
- ・z o o m面談などリモート対応が可能な事業所については、電話ではなくなるべく顔のみ見える状況で面談を実施。
- ・相談支援部会については、中止ではなくz o o m開催に変更し中止なく毎月開催した。
- ・自立支援協議会相談部会において、コロナの流行状況について情報交換した。
- ・事業所との連携の中で流行状況をキャッチし事業所内で共有。法人利用者様に関わる情報を得たときは速やかに報告した。

イ、防災対策

<事業所内訓練>

- ・防災委員会の報告。
- ・昨年から開始したゆううん独自の171訓練を継続。
様々な震度設定をすることで、震度の規模の把握やイメージトレーニングの機会となった。
- ・防災対策研修について年間計画をたてて実施。
噴火や防犯対策について、初めてテーマとしてとりあげた。

<障がい者施設合同防災訓練>

- ・障がい者支援施設合同防災訓練では、相談ならではの取り組みとして、地域相談者のハザード確認、支援の優先順位についてリスト化することができた。
また、事業所訪問中、家庭訪問中、走行中に被災する可能性も考え、インターネットが有効と想定し、ゆううんグループラインで安否確認と周辺状況の共有訓練も実施した。
脳内シミュレーションだが、周辺地形やリスクなどイメージトレーニング

グする良い機会となった。

<地域>

・2/22 自立支援協議会事業所部会として、町主催防災研修「個別支援計画策定」に参加。

作成方法、日ごろ意識することについて確認できる機会となった。

この研修報告を2月相談会議にて共有した。

2、その他

長泉町障がい者自立支援協議会事務局業務

新型コロナウイルス流行下のため中止となる部会もあったが昨年よりも開催でき、各部会から地域課題を吸い上げることにつながった。

<開催状況>

運営会議：隔月第3木曜（13：30～15：00）

内容 各専門部会の報告

各専門部会からあがった課題の検討

全体会開催における調整

圏域自立支援協議会 開催内容の共有 等

全体会：第1回 2月14日集合開催実施

内容 運営会議・専門部会からの活動報告

各部会からあがった課題の報告・話し合い

専門部会：事業所部会…隔月第3火曜（13：30～15：00）

内容 各事業所紹介、困りやニーズの共有、意見交換

障がい者週間の取り組みについて

2/22 長泉町防災研修会へ参加

子育て部会…隔月第2火曜（10：00～11：30）

内容 ケースワーク（町内の事例を用いた検討会）

課題の抽出

相談支援部会…毎月第3水曜日（13：30～15：00）

内容 事例検討会（困難事例、地域課題含む）

各事業所より情報共有

若者サポートステーションの見学実施

宅建協会様による事業説明会の実施

圏域自立支援協議会 開催内容の共有 等

地域生活支援拠点事業プロジェクトチーム

R4年度：6月に開催

メンバー：長泉町役場、相談支援事業所、施設長

内容：登録者の検討、拠点のしくみの確認

※拠点の機能

- 拠点機能① 24時間の相談体制の確保…R4年度は行政が対応
拠点機能② 緊急時の受け入れ態勢 …悠雲寮（ショートステイ）
拠点機能③ 体験機会の提供 …悠雲寮（ショートステイ）
ほほえみ&みのり工房

今年度、緊急受け入れ実績なし。

R5年度より、緊急時の受け入れ先や体験機会の相談対応について、
ゆううんも協定を結ぶこととなった。

3、施設整備の補修及び器具备品購入等

(1) 維持補修

なし

(2) 物品購入

備品

椅子	2脚	46,200円
ウォーターサーバー	機器レンタル	12,612円（1051円/月）
無停電電源装置	1台	17,580円
アルコールチェッカー	2個	5,560円
防災用リュック	6個	19,680円

○このはな保育園

1. 年間通しての取り組み

(1) 保育の質向上

- ① 新型コロナウイルスの終息を見据え、少しずつ行事等も 2019 年度以前に戻していけるよう形を変えていった。保護者には前年度同様、「行事の中止や変更は状況によってあり得る」ことを事前に周知したうえで保育を提供した。登園の自粛を呼びかける期間はなかったが、感染対策は継続して行なった。子ども達に表情を見せて保育できるよう、積極的にマスクは外していった。また、児童発達支援センターの開園に備え、職員が例年よりも多かったことで、支援児への対応や ICT の活用法、自然との関わりを重視した活動等、前年度と比べより踏み込んだ取り組みを行う事ができた。
- ② 外部研修は、前半オンラインが主流であったが、キャリアアップ研修をはじめ、対面での研修も増えたため、時間を作り積極的に参加するよう職員に促した。前年度と同様の参加数は確保することができ、自己研鑽に取り入れる職員も多く見受けられた。昨年からはじめた内部研修も月に 1 度のペースで実施することができ、保育実践や振り返り、支援児への対応、カリキュラム等についての見識を広げることができた。全体的な計画や年間計画、月案、週案などの見直し、ペーパーレス化も継続した。
- ③ 子どもの主体性を引き出し、対話的な保育となっているか、また、子どもの興味や発達に沿った計画になっているかを検討し、必要に応じて変更を行った。果樹園に樹木を増やし、ビオトープの充実を図った。支援を必要とする園児には、これまで以上に手厚いかかわりを行うことができ、行政や他市町村の療育機関と連携を図りながらの支援や、児童発達支援センターへの接続を行うことができた。月に 1 度の職員会議では、事前に課題や協議事項を明確にしておき、時間の短縮を図った。クラス業務に充てる時間を増やし、時間外労働の削減に努めた。各クラスからの現状報告については、ドキュメンテーションを用いて実施した。
- ④ マネジメントカメラを活用し、保育の振り返りや園児トラブルの検証を行った。園庭、果樹園のカメラも利用し、安全面の充実を図った。

- ⑤ ドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)での情報発信、「おうちえん」での動画配信を継続。『保育の見える化』を進めた。スマートフォンへの情報配信は好評である。
- ⑥ ICT システムの活用や、業務の細かな分担、年次有給休暇の積極的取得により、働きやすい職場作りを行った。登降園チェックシステムキッズリーは連絡帳機能だけでなく、保育計画や振り返りにも活用した。0.1 歳児の睡眠チェックツール「ルクミー」は誤作動等が多いため契約解除。集金業務はキャッシュレスに移行する準備を整えた。

(2) 人材の育成

- ① マニュアルや手順書を整理し、職員会議にて伝達した。細かな伝達、連絡は漏れをなくすために SLACK にて行った。
- ② 外部研修を積極的に受講し、そこで得た知識や情報は SLACK や毎月の職員会議で共有した。園内研修チームが中心となり、職員からのニーズを踏まえた園内研修も企画、実施した。
- ③ 園内研修や研修報告では、一方的な講義だけでなく双方向の意見交換の場も設けるなど、参加型の研修を取り入れた。

(3) 地域との連携

- ① 法人行事への参加や法人内他施設との交流は自粛となった。昨年中止となった桃沢幼稚園との交流は6月、10月に行った。
- ② 長泉町役場こども未来課、その他の行政機関との連携は例年通り行った。短大生や看護学生の実習受け入れに関しては、十分な対策を取った上で、学校とも協議をしながら行った。

(4) 安定した経営

- ① 光熱水費の無駄を省き、教材、教具、備品を細かく管理した。発注時期を決め、発注回数を減らし、管理のしやすさも求めた。
- ② 長泉町役場と連携を取り、4月の園児数99名から、年度末は106名まで受け入れを拡大した。

2. 実施した主な行事・活動

4月	1日	進級式(在園児)
	5日	入園式(新入園児・保護者)
	16日	新年度説明会

5月	12日 内科検診（山本先生） 18日 さつまいものつるさし 19日 歯科検診（服部先生） 26日 親子遠足（3歳以上児・富士サファリパーク）
6月	1日 衣替え 8日 スクリーニング検査（年長児） 15日 オープン参観
7月	5日 交通安全教室（交通安全教会裾野支部・3歳以上児。） 7日 七夕のつどい（全園児参加） 30日 このはな夏祭り
8月	12日～ 希望保育実施（3日間） わくわくまつり→中止
9月	1日 防災引渡し訓練 （南海トラフ地震想定、15時に一斉メール送信） 15.18日 一斉園見学の日
10月	1日 運動会 27日 起震車体験
11月	7日 さつまいも掘り 10日 祖父母参観会 11日 お箸贈呈式(年中) 17日 内科検診（山本先生）
12月	3日 生活発表会(2部制人数制限有) 16日 もちっこ会(もちつき) 21日 クリスマス会 29日～ 冬季休園 ※みかん狩り(石原さんの畑にて)
1月	～3日 冬季休園 5日 新年の集い
2月	3日 節分の集い 15日 オープン参観 28日 修了写真撮影
3月	3日 入園説明会 10日 年長お別れ遠足 18日 年度末説明会 24日 修了式 25日 卒園式 31日 新年度準備

3. 毎月実施した行事

身体測定 誕生会 お弁当の日 避難訓練

4. 園児数推移

	ひかり	ほし	たいよう	にじ	つき	そら	計
	(0歳児)	(1歳児)	(2歳児)	(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)	
4月	6	15	21	20	19	18	99
5月	7	15	21	20	19	18	100
6月	8	15	21	20	19	18	101
7月	8	15	21	20	19	18	101
8月	9	15	21	20	19	18	102
9月	9	15	21	20	19	18	102
10月	10	15	21	20	19	18	103
11月	11	15	21	20	19	18	104
12月	11	15	21	20	19	18	104
1月	12	15	20	19	19	18	103
2月	12	16	20	19	19	18	104
3月	12	17	20	20	19	18	106

5. 保護者(家庭)との連携

- ① 園だよりの発行。(月に1回以上、webにて)
- ② クラスだよりの発行。(月に1回以上、必要に応じ随時、webにて)
- ③ 連絡帳(アプリ Kidsly)でのやりとり
→0.1.2歳児:園での様子などを毎日記入、家庭での様子も毎日把握した。
→3.4.5歳児:必要に応じ記入し、家庭からも同様に使用していただいた。
- ④ 緊急連絡、お知らせ、重要事項の確認などもキッズリーにて行った。
- ⑤ ブログの更新、クラス単位でドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)を掲示(スマホに配信)。

6. 延長保育利用実績

- ① 18時以降の利用は延長保育とした。
- ② 利用料金 18時~18時29分 → 200円
18時30分~19時 → 500円
- ③ 利用人数は延べ503人。延長料金は年間で114,400円であった。

7. 一時預かり事業

- (1) 利用人数は延べ165人。利用料金は年間で343,200円であった。

8. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の維持補修

(単位:円)

補修箇所	支出費	備考
園庭	196,900	大型遊具修繕
外壁周辺	157,300	軒天修理工事
各部屋	258,500	引戸修理、網戸張替、クロス補修工事
各種設備	272,360	部品修繕交換(窓ホーレタ,エレベータ,屋内カメラ等)
トイレ	14,300	漏水修理工事
VPN ネットワーク	294,800	スミダス開発に伴う変更工事
計	949,060	

(2) 物品購入

・固定資産

① 園庭壁掛け時計 1台 154,000円

・器具備品

① 管理用 iPhoneSE	10台	542,300円
② 空気清浄加湿器	12台	510,400円
③ コードレスクリーナー	1台	64,900円
④ ファイルトレイワゴン (可動式書庫)	1台	31,460円
⑤ 4人乗り乳母車	1台	95,700円

○悠雲の家およびアネックス悠雲の家（共同生活援助事業）

1. 目標に対する取り組み

(1) 支援に関すること

①感染症対策を行いながら利用者の生活の充実と安全を図る。

- ・新型コロナウイルス関連の情報や、現在の対策方法を随時利用者に伝えるとともに伝達版を作成し、見てわかるよう掲示を行った。
- ・感染予防を行いながら誕生日会やクリスマス会、新年会を実施した。
- ・昨年の満足度アンケートの意見を反映し、部屋替えを実施。
快適に生活できるよう配慮を行った。

また、満足度アンケートの結果から旅行に行きたいとの声が多くあり、利用者と行き先を話し合った。その結果、感染症対策を行いながら愛知県方面への日帰り旅行を行った。

- ・就労先への定期連絡や訪問を通して、課題の抽出や対応を行い、就労の継続に努めた。
- ・モガワといずみの郷に通っていた利用者（BさんとEさん）2名が体調不良等の理由から退職を希望した為、退職にむけて調整を行った。

その結果、スムーズに退職することができた。

退職後はほほえみ&みのり工房へ通えるよう調整をした。

〈実施内容〉

4月	誕生日会	12月	誕生日会・クリスマス会
5月	誕生日会	1月	新年会
6月	誕生日会	2月	誕生日会
11月	日帰り旅行（愛知県方面）	3月	誕生日会

利用者	年齢	程度	勤務先	給料(月額)	年金月額	出身地
A(女)	74	中度	H&M	22,000円	65,000円	長泉町
B(女)	39	軽度	H&M	23,000円	65,000円	三島市
C(女)	37	軽度	さつき園	124,000円	65,000円	熱海市
D(女)	76	中度	H&M	22,000円	65,000円	長泉町
E(女)	42	軽度	いずみの郷	80,000円	65,000円	熱海市
F(女)	62	中度	H&M	20,000円	65,000円	裾野市
G(男)	53	軽度	リースサンキュー	77,000円	65,000円	清水町
H(男)	57	軽度	H&M	23,000円	65,000円	裾野市

平均年齢 55 歳

※H&M・・ほほえみ&みのり工房

②虐待防止会議を実施し、日々の虐待防止に努める。

- ・月に1回虐待防止会議をGH内で実施。(年12回)
研修等を行いながら話し合いを行った。

その中で上がった課題等を各事業所が集まる虐待防止委員会にて報告・検討をした。
虐待防止委員会で上がった内容は虐待防止会議で職員に周知した。

(2) 人材に関すること

①職員のスキルアップにつなげるため、職員研修を月に1回実施する。

- ・毎月、GH会議内で内部研修を実施。

障害者虐待防止に関する事や、感染症対策、防犯に関する事の研修を行った。

外部の研修

月 日	研修名	参加人数	主催者
5月24日	事業所部会	1	長泉町
7月19日	事業所部会	1	長泉町
10月25日	業務の定着化を図る教え方講座	1	静岡県健康福祉部
11月9日	事業所部会	1	長泉町
1月15日	事業者説明会	1	長泉町
3月16日	BCPについての研修	1	静岡県健康福祉部
3月20日	事業所部会	1	長泉町

内部の研修

月 日	研修内容	参加人数	講師
4月28日	障害者虐待防止についての取り組み	3	木村
5月26日	障害者虐待の事例・原因について	3	木村
6月23日	虐待通報システムについて	3	木村
7月26日	手洗いについて	3	木村
11月24日	障害者差別について	3	木村
12月27日	感染症について	3	木村
1月30日	手洗いの正しい方法について	3	木村

②世話人が働きやすく、相談しやすい職場環境や職員の処遇の見直しを実施する。

- ・年に2回(8月と2月)に職員面談を実施。世話人の困りごとを確認する事ができ、解決の為の提案をすることができた。
- ・GH会議内で困りごとや改善すべきことについて話し合い、必要に応じて助言を行った。

(3) 地域に関すること

①月に1回利用者が奉仕活動を行い、地域との関わりを深めていく。

- ・コロナの状況を見ながら年4回奉仕活動を実施した。(4/2、5/28、6/11、7/23)
行った際には地域住民の方から「ありがとう」等の声をかけられることもあり、地域との関わりを深める機会となった。

②長泉町障がい者自立支援協議会 事業所部会に職員が参加し、困難事例や課題の共有を図る。

- ・2ヶ月に1回開催された事業所部会に5/24、7/19、11/9、3/20の4回参加した。
情報共有や事業所紹介を通して各事業所の課題を共有することができた。

(4) 経営に関すること

①国や県からの新型コロナウイルス対策内容を確認し、適切な対応を行う。

- ・国や県から報告等を感染症対策会議や感染症対策委員会で確認。
- ・会議内で利用者小遣いの管理方法や光熱費の確認を行った。
- ・エアコン使用時は効率よく換気できるように利用者へアドバイスを行った。
- ・電気や水道の使いすぎる利用者に対しては使用方法の見直しや使い方をレクチャーした。
- ・コロナ対応に関する通達文書を確認し、感染症の対応方法の徹底や補助金の申請等を行った。また、コロナに関する法人からの指示事項をその都度世話人に伝達して情報の共有に努めた。

②非常災害対策を強化する為に事業継続計画に沿った訓練を行い、有効性を検証し、内容の見直しを実施する。

- ・2ヶ月に1回の防災委員会に参加をし、各事業所と課題や訓練方法等の検討を行った。防災委員会で上がった内容は防災会議で職員に周知をした。
(防災委員会 年6回、防災会議 年12回)
- ・10/27 事業継続計画に沿った障害者施設合同防災訓練を実施した。
事前に想定をした内容での訓練を実施することができた。

③感染症対策委員会に参加し、感染症拡大防止・事業継続の為に体制を整備する。

- ・毎月GH会議で感染症対策会議を実施した。(年12回)
感染症対策の方法やシュミレーションを行いながら見直しをした。
また会議で上がった課題等を各事業所が集まる感染症対策委員会にて報告・検討をした。
感染症対策委員会で上がった内容は感染症会議で職員に周知した。

2、その他

(1) 健康管理

- ・日常の定期通院などは個別に声掛けを行い、忘れずに通院できるようにした。
一人では行えない利用者については必要に応じて、世話人が同行(有料サービス)をした。
- ・12月～1月に4名の方がコロナウイルス感染。
それに伴い、部屋ごとの個別対応や食事のお弁当対応、感染後の様子観察を行い、重症化する利用者や後遺症が残る利用者は出なかった。
- ・自炊をしたいと要望のあった利用者へ調理方法などアドバイスを行った。

(2) 家族との関係

- ・必要に応じて家庭に連絡を実施した。
- ・健康診断で血液検査の結果が再検査の利用者がおり、家族に連絡をしながら通院をした。
- ・コロナ渦ではあったが、感染症対策を行いながら面会を実施し、喜ばれる保護者もいた。

3、施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
302号室トイレつまり	30,800円	
302号室台所水栓	52,800円	
302号室ドアクローザー	18,700円	
ドアノブ・鍵(301、302、305、306号室)	73,700円	
計	176,000円	

(2) 物品購入

・器具備品

4月から307号室入居にあたり

カーテン 10,580円

電子レンジ 14,300円

洗濯機 38,830円

・固定資産

なし

社会福祉法人静香会令和4年度年度事業報告附属明細書

該当事項ありません